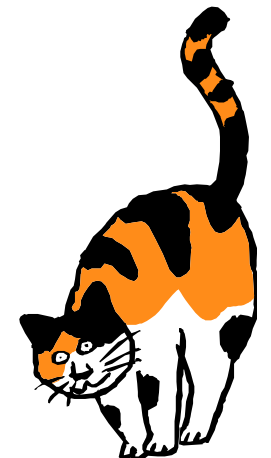


学術ポータル担当者研修2012を振り返って

稲永晶子

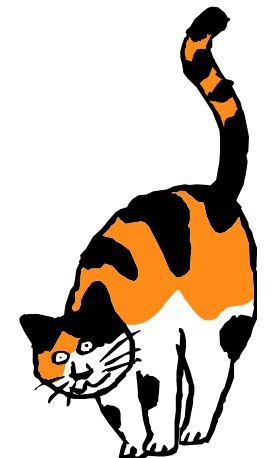
琉球大学附属図書館情報サービス課

情報サービス企画係

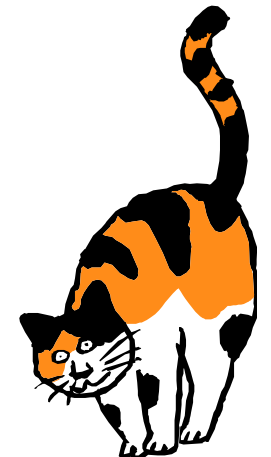


今日話すこと

- ◆自己紹介(わたしってこんな人、どこの人)
- ◆受講動機(どうして受けたの?この研修)
- ◆学術ポータル担当者研修ってこんな感じ
- ◆3日間を乗り切るコツ
- ◆研修で得たもの・始まったことはコレ!
- ◆おわりに



わたしってこんな人、どこの人



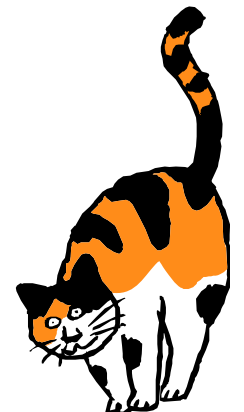
わたしってこんな人、どこの人

◆琉球大学について

- ・1950年に米軍占領下の下、首里城跡地に開学。
- ・1977年から1984年にかけて首里城キャンパスから現千原キャンパスへ移動。
- ・沖縄県で唯一の国立大学であり、日本最南端の国立大学

◆附属図書館について

- ・蔵書は100万冊超。
- ・首里城キャンパス時代に琉球大学文化センターとして開館。
- ・現附属図書館は1981年に開館、1994年に増築。
- ・現附属図書館には暖房設備がないことで有名。



わたしってこんな人、どこの人

◆ 附属図書館が提供する電子サービス

・郷土資料の収集・公開に力を入れている。

(沖縄資料を担当する部署が有)

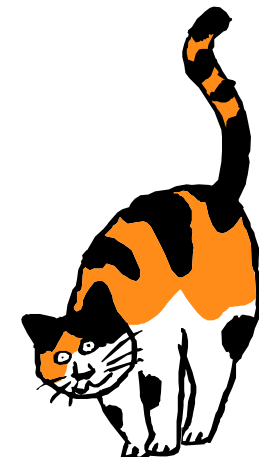


HPから利用できる郷土資料に関する電子サービスの一例(全部ホームページから見れます)

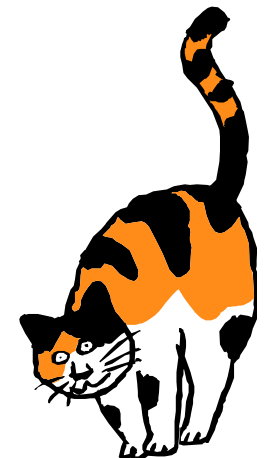
| | |
|--------------------------|---|
| ixio | 沖縄情報統合検索システム(Integrated Cross-search for Information of Okinawa, 略称:iXio)」。沖縄関係の情報を掲載する県内外のデータベースを横断的に検索するシステム。 |
| BIDOM | 沖縄文献データベース(Bibliographic Information Database of Okinawa Materials, 略称BIDOM)既存の国内外のデータベースでは検索できない、論文・記事等の目録情報を収録。 |
| 琉球・沖縄関係貴重資料 デジタルアーカイブ | 従来のデジタルアーカイブとは異なり、古文書の画像だけでなく、それらの翻刻や現代語訳、解説を付与している。研究者だけでなく市民にも気軽に学術資料に親しむことができる |
| 沖縄地域学リポジトリ | 沖縄県内に所在する学術成果物等を、電子的に蓄積・保存し、広く世界へ発信 |

わたしってこんな人、どこの人

- ◆ H18年度に琉球大学に採用され、附属図書館情報管理課資料受入係に配属
 - ◆ 現在琉球大学附属図書館情報サービス課情報サービス企画係所属
- ※図書館内のイベント企画、リポジトリ等を担当する部署です。

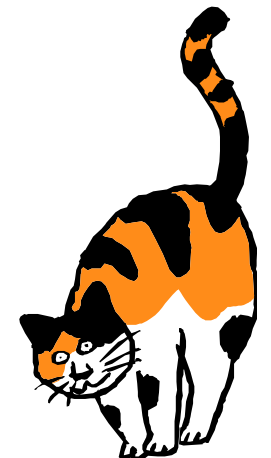


どうして受けたの？この研修



どうして受けたの？この研修

- ◆ウェブサービスを扱う部署であったこと。
- ◆新しい研修に興味／今までのポータル研修と内容が一新したらしい??
- ◆研修の概要を見ると、どうやら企画立案にもすごく役立つ内容らしい／仕事に直結！
- ◆そしてもうひとつ大きなたくらみが.....



どうして受けたの？この研修

NIIってどんなところ？
NII行ってみたい。

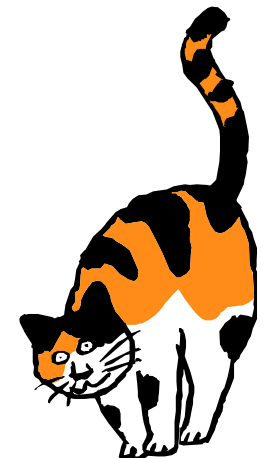
NIIの実務研修に行く
と良いよ！

じゃあそのNIIの実務
研修にはどうやって
行ったらいいんです
か？

まず、ポータル研修を
受けてごらん！

- ◆ 漠然とした希望や疑問を上司、時には研修にいらしていたNIIの方々に尋ね尋ねて「どうやらポータル研修は受けた方が良さらしいぞ……」と気づく。

学術ポータル担当者研修ってこんな感じ

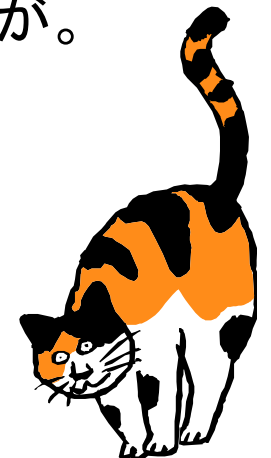


学術ポータル担当者研修ってこんな感じ

- ◆研修は3日間みっちり！
- ◆研修は《講義》と《グループ討議》で構成
- ◆今まで知らなかった企画のノウハウ。コツ。
- ◆グループ討議については事前のアンケートで班決め。

「大規模論文データベース」

※他にも「オープンコースウェア」「文献管理サービス」「ソーシャルメディア」「ディスカバリー・サービス」「次世代総合目録サービス」のグループが。



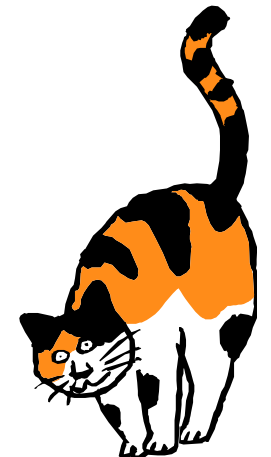
学術ポータル担当者研修ってこんな感じ

◆ グループ討議前提条件

企画したサービスを上司によってリジェクトされてしまった。その理由を踏まえた上で企画を練り直し、プレゼンテーション。上司を納得させるべし！

◆ 簡単な流れ

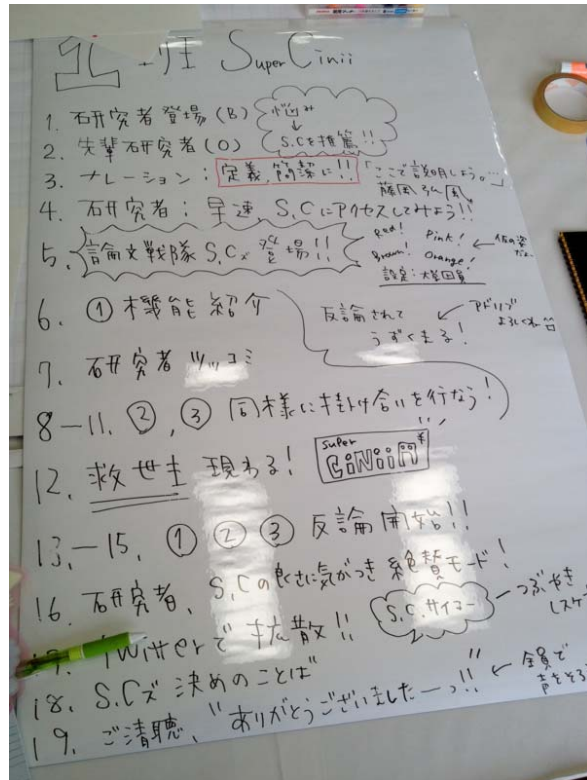
- ①リジェクトされたサービスについて現状把握
- ②作ろうとしているサービスについてのブレスト
- ③サービスの設計 (VMSO)
- ④仮プレゼン
- ⑤ブラッシュアップ
- ↓
- ⑥本番プレゼン 感動のフィナーレ！



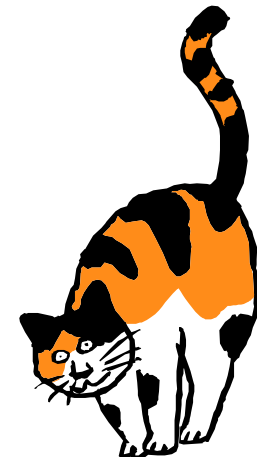
学術ポータル担当者研修ってこんな感じ

◆プレゼン方法について

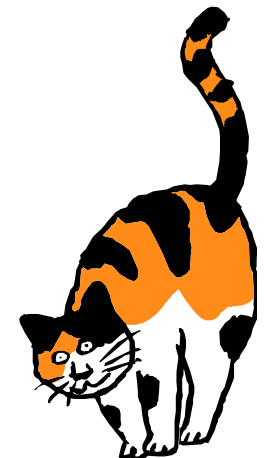
「大規模論文データベース」班は寸劇で勝負。



← 脚本

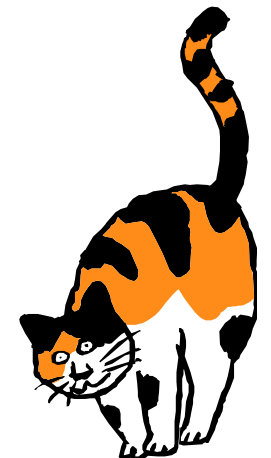


3日間を乗り切るコツ

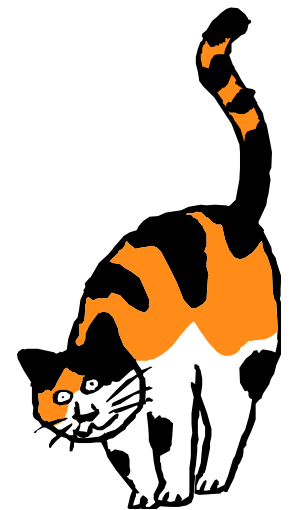


3日間を乗り切るコツ

- ◆体力。
- ◆しらけない。
- ◆ロールプレイングは真剣に！
- ◆時間が短いので時計を手放すにゃ！
- ◆楽しむ。



研修で得たもの・始まったことはコレ！



研修で得たもの・始まったことはコレ！

～皆にも聞いてみたよ！～

・図書館公式Facebookページをすんなり始められた。提案した3日後に開始。

・SEさんや技術職さんへの伝え方がちょっと変わった。画面キャプチャとか図とか多用、現状→希望を詳細に伝えるように。

・Facebookが便利なツールだと思って使うようになった。

・今までつながりのなかった人と縁が深くなって、大学をまたいで協力できたり、講演を頼んだりできるようになった。

・企画を練るときの進め方、ものの考え方が身についた(VMSOとか)。これから何年先でも使えると思う。

★★★★★こんな人も★★★★

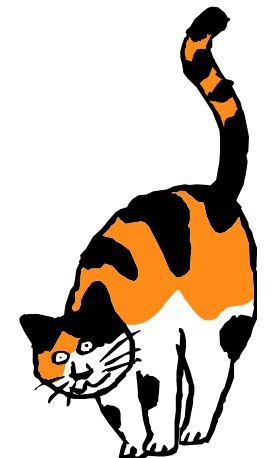
・USTREAMで自分の姿が中継されアーカイブされることに対する抵抗が薄れた。

・人前で寸劇することにためらいがなくなった。



研修で得たもの・始まったことはコレ！

- ◆企画って楽しい、という気持ち
(ふ、ふん！知ってたけどね！)
- ◆様々なワークショップの方法を知る。
(活用できそう！)
- ◆知り合いが増えた
(そういえばこの研修で知り合った人が結構いました)



研修で得たもの・始まったことはコレ！

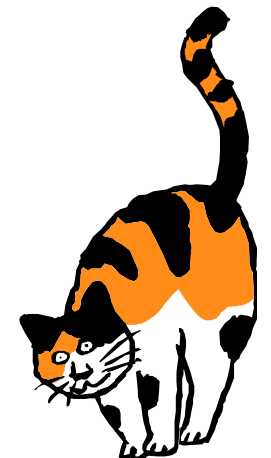
- 2012年12月～2013年3月実務研修生として
NIIでの実務に従事。

実務研修の成果については国立情報学研究所の「実務研修」のページに詳細を掲載。

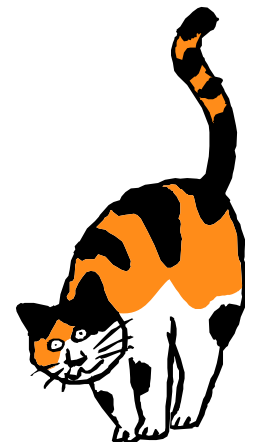
大学の図書館7月号(2013.7.25発行予定)※実務研修に関する短文掲載予定。



実務研修生特典(2012年度)
NIIキャラクター情報犬ビット君



おわりに



おわりに

- ◆3日間ハイテンションで戦いましょう！
- ◆一生懸命に取り組めば、必ず何かにつなげていけるはず。
- ◆職場での情報共有。堅苦しい出張報告書が苦手な人も、たくさんの写真と「楽しかったよ！」「こんな方法があるんだってよ！」というお土産話を持って帰ってください。



Enjoy , and fight!

